

豪・パースの親子らメッセージ

「震災に負けないで」



メッセージを受け取った生徒ら

富岡養護学校生を激励

オーストラリア・パース在住の親子らが本県の子育て世代に贈ったメッセージが十日、いわき市に仮設校舎を置く富岡養護学校に届

けられた。

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から三年が経過したいま、同じく「子どもを持つ親」としてエールを送ろうとオーストラリア(パース)福島県人会が企画した。

小さなカンガルーのマスケットに「津波に負けないで」「元気で頑張ってね」など書かれたメッセージが付けられている。贈呈式では、橋渡し役を務めた「子どもの笑顔The BIG

K.I.S.S.プロジェクト」の日本事務局責任者の林由美子さんら三人が訪れた。林さんがメッセージ三十通と、二月にパースで行われた「日本まつり」のバザー売上金から寄せた義援金七万四千四百円を小野誠子校長に手渡した。生徒代表の大山直也君(中学部三年)

が「大切にします」とお礼の言葉を述べた。メッセージは生徒を通じて、保護者に届けられる予定。

同校の他、福島市の福島大付属特別支援学校と県女性のための相談支援センターに届けられた。